

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）

その他有価証券（市場価格のあるもの）・・・市場価格等に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

建物、構築物、車輛運搬具、機械装置及び什器備品・・・定額法による。

②無形固定資産（リース資産を除く）

ソフトウェア・・・定額法による。

③リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員等に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期負担額を計上している。

②退職給付引当金

職員の退職金の支出に備えるため、期末退職給付債務の見込額に基づき計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	305,899	431,700	82,836	654,763
定期預金	500,000	0	0	500,000
投資有価証券	199,423,639	9,921,598	10,000,000	199,345,237
小 計	200,229,538	10,353,298	10,082,836	200,500,000
特定資産				
退職給付引当資産	273,000,000	20,000,000	40,000,000	253,000,000
施設修繕積立資産	20,000,000	170,000,000	0	190,000,000
中央研究所 本館・研究棟建替資金	363,588,701	63,248,670	20,007,200	406,830,171
小 計	656,588,701	253,248,670	60,007,200	849,830,171
合 計	856,818,239	263,601,968	70,090,036	1,050,330,171

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	654,763	(654,763)	-	-
定期預金	500,000	(500,000)	-	-
投資有価証券	199,345,237	(199,345,237)	-	-
小 計	200,500,000	(200,500,000)	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	253,000,000	-	-	(249,796,600)
施設修繕積立資産	190,000,000	-	(190,000,000)	-
中央研究所 本館・研究棟建替資金	406,830,171	-	(406,830,171)	-
小 計	849,830,171	-	(596,830,171)	(249,796,600)
合 計	1,050,330,171	(200,500,000)	(596,830,171)	(249,796,600)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,903,722,146	1,618,537,572	285,184,574
構築物	683,246,002	665,066,002	18,180,000
機械装置	130,460,500	113,469,711	16,990,789
什器備品	544,009,495	459,737,085	84,272,410
リース資産	216,750,800	79,256,460	137,494,340
ソフトウェア	19,193,210	6,164,234	13,028,976
合 計	3,497,382,153	2,942,231,064	555,151,089

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第136回利付国債	35,000,000	34,387,500	△ 612,500
第167回利付国債	34,879,044	26,719,000	△ 8,160,044
第174回利付国債	50,000,000	35,395,000	△ 14,605,000
第374回利付国債	9,844,757	9,026,470	△ 818,287
第460回利付国債	29,998,800	29,988,660	△ 10,140
第420回大阪府公募公債	20,000,000	19,752,000	△ 248,000
秋田県令和7年度第4回公募公債	10,000,000	9,726,000	△ 274,000
第76回日本学生支援債券	30,000,000	29,901,000	△ 99,000
第76回日本学生支援債券	30,000,000	29,907,000	△ 93,000
第11回東京電力パワーグリッド社債	40,000,000	39,324,000	△ 676,000
第536回関西電力社債	9,621,436	9,235,000	△ 386,436
合 計	299,344,037	273,361,630	△ 25,982,407

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益による振替額	1,476,573
合 計	1,476,573